

ゆたか看護部通信 No1

看護部では、今年看護提供方式 PNSの導入に取り組んでいます。

従来、固定チームナーシングを行っていましたが、一人で行う看護に限界があることや、忙しさに日々追われ、看護職の笑顔が減っていると感じ、PNSを導入することにしました。

9月からPNSに取り組み始め、先日10月13日にJCHO九州病院へ4名が見学に行ってきました。その時の様子と感想をご紹介します。



当院ではリーダーが忙しいペアの手伝いに入ってしまうことが多いが、タイムスケジュールや安全管理などすべての業務を調整していた。「ありがとう」を増やす環境をつくっていききたい。



病棟の雰囲気明るく、みんながよく声を出し合って情報共有をしていた。「PNSをやる！」というぶれない意識を持ち続けたい。



ペアで行動することで信頼関係の構築のきっかけとなり、後輩は学びを深め、先輩は責任感が養われていくことでお互いに成長することができ、看護の質向上につながると感じた。

お互いのコミュニケーションがとれ、報告・相談ができていた。受け持ち患者さんのためにスケジュールを組み、どうすれば時間内に業務が終了するか、各自が考えて動いていた。それぞれの役割の理解ができていなかったことに気付いた。



九州病院の皆様、お忙しいところありがとうございました。たくさんの学びがあったようです。2回目の見学は10月27日です。1回目の見学で見忘れたところ、確認ができなかったところをしっかりと学んでくださいね。

【編集後記】

ゆるやかPNSを始めて1か月。まだまだPNSマインドの醸成や看護師長とリーダーのパートナーシップなど、未熟なところが多いですが、超過勤務が減少したり、スタッフ間のコミュニケーションが増えたりと少しずつ効果も出てきました。

お互いに楽しく仕事ができるように、「看護によって選ばれる病院」を目指して頑張りましょう！